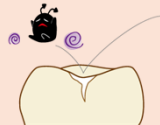



歯の溝のむし歯を防ぎましょう！
～シーラントについて～



東京都立心身障害者口腔保健センター

1

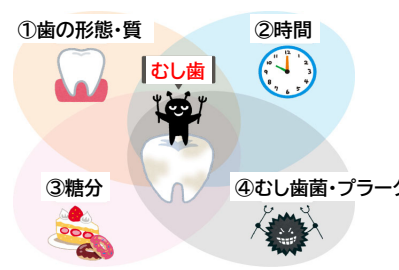
みなさんシーラントって聞いたことありますか？



今回はむし歯予防として行うシーラントについてご紹介します

2

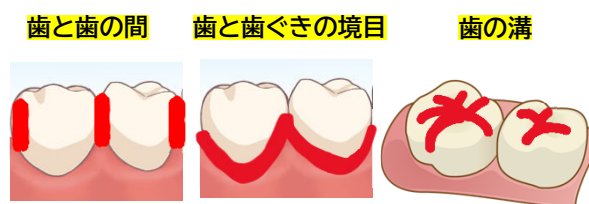
▶ むし歯になる原因は4つあります



①歯の形態・質 ②時間
③糖分 ④むし歯菌・プラーク

3

▶ むし歯になりやすい部位



歯と歯の間 歯と歯ぐきの境目 歯の溝

歯科素材.com

4

▶ シーラントとは…

むし歯予防として、歯を削らずに歯の溝を樹脂(プラスチック)でうめる処置のことです



歯 歯ぐき 樹脂

処置前 処置後


歯科素材.com

5

Q: どうしてシーラントが必要なのでしょう？

A: 歯の溝は形態的にプラークがたまりやすく、歯ブラシが届きにくいからです

シーラントで溝を浅くすることで、プラークがたまりにくくなりむし歯を予防することができます



歯の溝に歯ブラシを当てている所

歯科.com

6

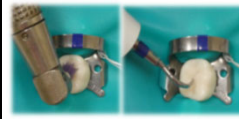
Q:シーラントは溝を浅くする以外にどんな効果がありますか？

A:シーラントの材料には、フッ素が含まれています
歯にゆっくり浸透して、歯の質を強めてくれます

※ただし、フッ素の効果はシーラントを充填した
箇所だけになります

7

▶ シーラントの流れ



①歯面清掃

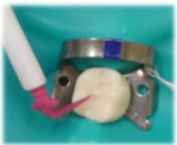
むし歯の原因となるプラークが残らないよう
ブラシや水のでる機械で歯の溝を清掃します



②防湿

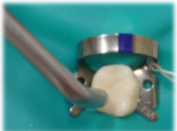
歯と材料の接着性を高めるため、
わたやゴムのマスクで唾液が入るのを防ぎます

8



③歯面処理

歯と樹脂を接着させるため
専用の液を塗ります



④歯面乾燥

風をかけて歯面を乾燥させます

9



⑤シーラント充填

歯の溝を樹脂で埋めます



⑥光照射

光で樹脂を固めます

10

▶ シーラントの注意事項

- 永久に持続するものではありません
経年的に劣化する材料のため、取れたり外れることもあります
- シーラントした部分も歯磨きが必要です
シーラントをしても歯磨きをしないと、むし歯になってしまいます
- 予防であり治療ではありません
すでにむし歯がある歯にシーラントはできません

※シーラントを行う部位や行う時期については、歯科医師・歯科衛生士
と相談して決めましょう

11

▶ シーラント以外のむし歯予防について

①歯の形態・質



むし歯

②時間



③糖分

④むし歯菌・プラーク

むし歯予防のためには
・おやつは時間、量を決める
・食後は丁寧に歯磨きをする
・フッ素入りの歯磨き剤を使い
歯の質を強くする
といったことも大切です！

12

定期健診に行きましょう！



- シーラント後も外れたり、むし歯になっていないか？など定期的にお口の状態を歯科でチェックしてもらいましょう
- 早めにむし歯を見つけることで、治療にかかる回数を減らせたり、自分の歯を残すことにつながります
- わからないことは、お気軽にスタッフまでお尋ねください